

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

2021年（令和3年）4月1日から2022年（令和4年）3月31日まで

目次

事業の総括	・・・ 2
■多様な主体による対話と協働の場づくりと各種の支援活動	
（1）市民活動支援	・・・ 2
① 「ボランティア活動相談窓口」での相談対応	
② 相談対応力向上に向けた取組みなど	
③ NPO法人向け経営・資金調達セミナーの開催	
④ 「認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会」の企画・運営	
（2）市民活動支援センターの連携・人材育成	・・・ 6
① 県内ボランティア活動支援センター施設長会議の企画運営協力	
② 県内ボランティア活動支援センターの支援事業に関する調査の企画実施	
③ 県内ボランティア活動支援センター職員向け研修会の企画・運営	
（3）企業・大学等への支援、協働推進に向けた取組み	・・・ 8
① かながわ人生100歳時代ネットワークへの参加	
② 災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり	
（4）講師・委員等の派遣	・・・ 9
■市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進	
（5）市民参加／地域人材育成	・・・ 10
① かながわコミュニティカレッジ事務局の運営	
（6）県域の中間支援組織としての仲介活動	・・・ 12
総会・理事会の開催状況	・・・ 12

（参考）2021年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧

事業の総括

2021年(令和3年)度も新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで活動を継続しました。神奈川県の委託を受けて実施した「アドバイザー相談業務」は、前年度と比べて相談件数は増え、市民活動を始めたい方の相談や、NPO法人の設立・運営に関する相談が多数寄せられました。県内の市民活動支援センターのセンター長を対象とした会議はオンラインで開催しました。「かながわコミュニティカレッジ運営業務」では、年間35講座(38本)を開講しました。講義室での対面講座に替えて、オンライン講座も複数実施するようになりました。

さらに、2021年度は神奈川県NPO協働推進課の委託を受け、県内の認定(特例認定)・指定NPO法人を対象にしたオンライン学習会の企画・運営を担いました。また、県内外の自治体や団体などの依頼を受けて委員や講師を派遣したほか、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先として、県内5か所の市民活動支援センターから推薦を受けた団体等に仲介手配を行いました。

2020年(令和2年)4月に当法人、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワークの3団体が立ち上げたプロジェクト組織「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(準備会議)」(通称:みんなな準備会議)の活動は、2021年度かながわボランティア活動推進基金21協働事業に採択され、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支えるために、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワークづくりを進めています。

■多様な主体による対話と協働の場づくりと各種の支援活動

(1) 市民活動支援

かながわ県民活動サポートセンターより受託した「アドバイザー相談業務」では、県域のボランティア活動相談窓口として、県内のNPO法人を始めとする非営利法人や、法人化していない団体・グループのボランティア活動を推進するため、当法人の会員を中心とする相談員がシフトを組み交代で、団体の運営や活動上の課題の軽減・克服につながる助言や情報提供を行いました。また、日本政策金融公庫、神奈川県信用保証協会の協力を得て、NPO法人を対象とした事業計画・資金調達相談の窓口を開設し、NPO法人向け資金調達セミナーを開催しました。

神奈川県NPO協働推進課の委託を受け、県内の認定(特例認定)・指定NPO法人を対象にしたオンライン学習会の企画・運営を担いました。

①「ボランティア活動相談窓口」での相談対応 (アドバイザー相談業務)

県民活動サポートセンター9階の「ボランティア活動相談窓口」に相談員を交代で配置し、2021年4月1日から2022年3月31日まで、毎週火曜～土曜の13時～17時(12時～16時に変更した期間あり)、来訪・Zoomによるオンライン・電話・メールを通じて市民、非営利団体(市民グループ、NPO法人)等からの相談に対応しました。

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策として、相談窓口カウンター周辺の消毒や換気、飛沫防止用シートを貼るなどの対策を取りました。

2021年度の窓口開設日数は248日、相談件数は年間400件と新型コロナウイルス感染対策のため窓口閉鎖期間があった前年度に比べ増加しました（2020年度は218日、354件）。コロナ対策を講じたことにより新たな手法を見出し活動が活性化した団体や、テレワークの普及により在宅時間が増えた方などから、NPO法人の設立や運営に関する相談が多数寄せられました。なお、対面相談を補完する手段として、オンライン相談導入の必要性について県と協議した結果、2021年度からは「ボランティア活動相談窓口」においてZoomによるオンライン相談が実施可能となり、オンライン相談も増加傾向にあります。

さまざまな相談に対応する〔総合相談〕に加え、「法人設立・運営」「NPO法人会計・税務」「資金調達」などテーマ別の〔専門相談〕を設け、幅広い相談ニーズに対応しました。〔総合相談〕は年間365件、〔専門相談〕は年間35件でした。専門相談の実施状況は以下のとおりです。

＜専門相談会の実施状況＞

当団体の相談員に加え、外部専門家の協力を得て、テーマを決めた専門相談会を毎月定期開催しました。（計48回実施、相談件数は計35件）

- ・「法人設立・団体運営」12回：相談件数24件
- ・「NPO会計・税務」12回：相談件数6件
- ・「テーマ相談」12回：相談件数3件
（開設テーマ「企業CSR相談、SDGsに関する相談」「報告書作成」の2種）
- ・「資金調達・事業計画」12回：相談件数2件

②相談対応力向上に向けた取組みなど（アドバイザー相談業務）

相談従事者会議を年間10回、対面又はオンラインを併用して開催し、相談事例の共有を行うことで、相談員の相談対応力の向上に取り組みました。さらに相談従事者の研修会を行い、過去の会計相談、NPO設立・運営の事例を相談員で共有し、複雑な相談内容を専門相談員に適切につなげるよう知識を深めました。（6月4日、11月5日、1月7日）

また、県民活動サポートセンターとの連絡調整会議に出席し、事業の実施状況及び課題等について情報共有を図りました。県が所轄するNPO法人の認証事務を行っているNPO協働推進課横浜駐在所とは、NPO法人からの相談対応状況などについて意見交換を行いました（6月24日）。かながわ市民活動フェア2021（WEB上での開催）に参加し、WEB上の特設サイトに相談窓口をPRする動画を投稿しました（1月～3月）。

利用者アンケートを対面相談者に実施しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため相談窓口の利用制限を行った影響でアンケートの件数が少ない中、対面相談の他、Zoomによるオンライン相談分のアンケート（6件）も集計しました。今年度の相談は「法人の設立」「団体事務」「団体運営」など専門的な内容が多い傾向がみられ、アンケートに答えてくださった方の多くが「今後の事業活動に役立つ情報が得られた」と評価しています。事前の情報収集や調査など入念な準備に対して、また今後の方向性への提案や情報提供、的確なアドバイスや親身な対応に対して、窓口相談員や専門家に感謝のコメントをいただきました。

③NPO 法人向け経営・資金調達セミナーの開催 (アドバイザー相談業務)

NPO 法人等の運営者にとって参考となる経営・運営スキルや情報を得られる学習会「NPO 法人向け経営・資金調達セミナー」を金融機関の協力を得て開催しました。「新たな応援者とつながる資金集め・寄付集め」をテーマに、神奈川県内の NPO 法人や非営利法人・団体等の関係者やこれから活動したい方に向けて Zoom によるオンライン形式で開催しました。

●日時・開催方法・参加者:

名称: 令和3年度「NPO 法人向け 経営・資金調達セミナー」

実施日: 2022年2月10日(木)13時30分~16時00分

開催方法: Zoom によるオンラインセミナー

対象: 神奈川県内で NPO 法人など非営利法人・団体で社会的課題の解決につながる事業活動を行っている方、これから始めたい方

参加者: 32名

●内容:

テーマ: 新たな応援者とつながる資金集め・寄付集め

講義: 「クラウドファンディングを学ぼう ~その特徴や成功のコツ~」

講師: 桜井光さん (CANPFIRE パートナー/認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構)

実践報告: ~寄付月間って知っていますか?~

キャンペーン活動に参加して得たものとは

報告者: 寄付月間 2021@日本大通り実行委員会

橋爪 智子さん (NPO 法人日本補助犬情報センター 専務理事兼事務局長)

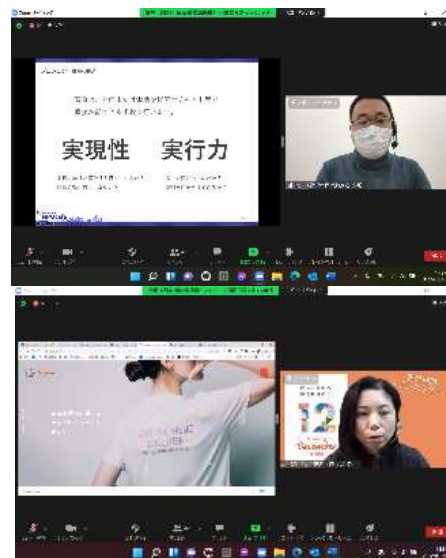
丸山 伊津紀さん (認定 NPO 法人地球学校 理事長)

三坂 慶子さん (NPO 法人 Sharing Caring Culture 代表理事)

●開催報告: NPO 法人向け経営・資金調達セミナー

「クラウドファンディングを学ぼう ~その特徴や成功のコツ~」をテーマに、桜井光氏による講義を受け、実際にクラウドファンディングをする際のポイント・方法を学びました。続けて、寄付集めに関する事例報告を「寄付月間@日本大通り実行委員会」の実行委員の橋爪智子さん (NPO 法人日本補助犬情報センター 専務理事兼事務局長)、丸山伊津紀さん (認定 NPO 法人地球学校 理事長)、三坂慶子さん (NPO 法人 Sharing Caring Culture 代表理事)、の3人による寄付集めに関する事例報告をいただきました。その後「新たな応援者とつながるためにどんな工夫をしていますか?」というテーマので、7つグループに分かれて意見交換を行い、その結果全体共有会をしました。セミナーの最後に、日本政策金融公庫と神奈川県信用保証協会より、NPO 法人などが利用できる融資制度について紹介がありました。

参加者からは、「基礎から学べ、とても勉強になりました」「同じような悩みを持つ団体のかたと短い時間でしたが話し合いが出来良かったです」「団体の PR、活動のファンを増やす、つながりを増やすなど、ぜひ取り組んでみたい」「このような企画を実施していただきすごく感謝しています」といった感想が寄せられました。



④「認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会」の

企画・運営（神奈川県委託事業）

認定（特例認定）・指定NPO法人を対象に、資金調達に関するオンライン学習会を企画、運営しました。学習会の前半では、休眠預金等を活用した助成制度を紹介するため、助成元であるJANPIA、実際に助成を受けたNPO法人の方々から、助成制度の概要や助成活用状況についてお話いただきました。後半は、コロナ禍での資金調達の工夫と変化について、参加団体同士で情報交換を行いました。

●日時・開催方法・参加者：

- ・実施日：2021年10月22日（金）14時～16時30分
- ・開催方法：Zoomによるオンライン研修
- ・対象：県内の認定（特例認定）・指定NPO法人
- ・参加者数：17団体（18名）

●内容：

【第1部】休眠預金等活用制度と社会的インパクト評価について

説明者：芥田 真理子さん

（一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）企画広報部）

報告者：和泉 正明さん（NPO法人ABCジャパン）

金 伽耶さん（認定NPO法人コロンブスアカデミー）

【第2部】コロナ禍での資金調達の工夫と変化

ファシリテーター・全体進行（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ）

●開催報告：認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会

【第1部】休眠預金等活用制度と社会的インパクト評価について

はじめに JANPIA 芥田氏より、休眠預金活用制度による助成事業の概要とその特徴、社会的インパクト評価の概要、資金分配団体と実行団体の今後の公募情報などについて、豊富なデータに基づいた説明が行われました。続いて助成事業の実行団体である県内のNPO法人2団体より、それぞれの助成事業の概要や助成を受けた経緯、実際に活用したうえでの利点や課題などについて報告がありました。3名の発表の後、参加者との質疑応答が行われ、参加者からは、助成が終わった後の事業継続や資金調達に関する検討状況などについて質問がありました。

【第2部】コロナ禍での資金調達の工夫と変化

参加者は3つのグループに分かれ、ファシリテーターの進行の下、各団体におけるコロナ禍での資金調達の状況について情報交換を行いました。その後、各グループで話した内容を全体で共有して意見交換しました。意見交換では、認定取得のメリットについて質問があり、参加者の中からは「寄付収入増を期待するよりも、社会的な信頼感を得ることが大きい」といった発言もありました。当法人のファシリテーターからは、認定NPO法人のみなし寄附金制度について情報提供を行いました。

(2) 市民活動支援センターの連携・人材育成

かながわ県民活動サポートセンターより受託した「アドバイザー相談業務」のなかで、県内の公設ボランティア活動支援センター（以下、「支援センター」）のセンター長等を対象とした会議の企画・運営を担い、県内の支援センター間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。また、県内支援センターにおける支援事業やサービス内容について調査を行いました。今年度は自主事業として支援センター職員向け研修会を行いました。

①県内ボランティア活動支援センター施設長会議の企画運営協力(アドバイザー相談業務)

県内支援センターの施設長等による会議を県と協働で企画・開催しました。

●日時・開催方法・参加者：

会議名：令和3年度ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング

実施日：令和3年9月7日(火)13時30分から16時

開催方法：ZOOMによるオンライン会議

対象：県内の公設ボランティア活動支援施設の施設長や当該施設の所管課長

参加者：26名

●内容：

令和3年度の新たな取組～アフターコロナを見据えた団体支援～

- ・各支援施設からの報告をもとに、コロナ禍において、各支援施設が事業を実施する上で新たに工夫したこと等について共有した。

事例報告施設：ほどがや市民活動センター（アワーズ）、さがみはら市民活動サポートセンター、ひらつか市民活動センター

- ・コロナ禍において、今後地域の活動団体に生じる課題、考えられる支援等について情報共有・意見交換をブレイクアウトルームで行い、全体共有した。

●開催報告：県内市民活動支援センター施設長会議（CEO ミーティング）

各センターの責任者の立場にある方々を対象とした「2021年度ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング」を、本年度は9月7日新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインミーティング形式で開催しました。ミーティングでは「新たな取組み～アフターコロナを見据えた団体支援～」というテーマで、いくつかの支援施設の事例を共有し、その後グループに分かれ、テーマに沿って意見交換を行い、グループごとに内容を発表しました。これまで経験したことのない状況の中、各支援施設での取組みや工夫を話し合うことで、参加者の皆様も新たな気づきを得られたようです。年に一度の CEO ミーティングは、神奈川県内の市民活動支援施設の責任者と各市町の担当部署が集まり情報共有ができる数少ない機会です。今年度もオンライン開催にしたことで「遠方のセンターの方ともやりとりできて良かったです」「各支援組織や自治体の課題や工夫などを知る事が出来て有意義でした」「コロナ禍での各施設の様々な取組みを情報共有でき非常に参考となった」「多くの参加で顔がつながり元気をもらった」といった感想と、このような機会は貴重であるといった意見を参加者からいただきました。



②県内ボランティア活動支援センターの支援事業に関する調査の企画実施

(アドバイザー相談業務)

県内の支援センターにおける支援事業に関する調査を実施しました。

- ・実施期間：令和3年9月20日(月)～10月5日(火)
- ・実施方法：回答票に記入し電子メール又はFAXにより回収
- ・対象者数：県内公設ボランティア活動支援施設 43機関
- ・回答率：100%

●調査目的：

神奈川県内の公設ボランティア活動支援センターにおける支援事業やサービス内容について調査を行い、調査結果をまとめて全施設にフィードバックするとともに、調査で得られた各施設の支援・サービスに関する情報を、かながわ県民活動サポートセンター「ボランティア活動相談窓口」での相談・情報提供に活用する。

●調査項目：

9項目

- ①利用者状況 ②相談体制と実態 ③情報提供・発信体制
- ④実施事業内容(講座・研修内容) ⑤コロナ対策、他組織との連携状況
- ⑥ICT・オンライン支援状況 ⑦施設設備
- ⑧ボランティア活動相談窓口との連携希望 ⑨県内他施設との連携希望

調査の結果、ボランティア活動相談窓口との連携について「参考となる相談事例の情報共有」を望む声が多く寄せられました。また、相談員派遣を希望する施設もありました。

③県内ボランティア活動支援施設職員向け研修会の企画・運営 (自主事業)

県内の支援センターで市民活動・NPO支援に携わるスタッフや、自治体の担当部署の職員の方を対象に、相互交流・研鑽を目的とする研修会をオンラインで開催しました。

●日程(全2回)：

2021年9月27日(月)13時30分～15時
2021年10月25日(月)13時30分～15時

●参加費：

1,000円/1アカウント(3名まで参加可)
※全日程参加も1日のみ参加も同額。

●参加費：

ZOOM(WEB会議システム)を使ったオンライン研修

●参加対象：

- ・県内市町のボランティア活動支援施設の職員・スタッフ
- ・県内自治体のボランティア活動・市民協働等の担当部署の職員
主に「初任者～着任3年目くらいまで」の方(着任3年以上の方の参加も可)

●内容：

講義「NPOの基礎知識と市民活動支援センターの役割」（全2回）

- ・1日目：2021年9月27日（月）「NPO、市民活動の基礎知識」
- ・2日目：2021年10月25日（月）「市民活動支援センターの役割」

講師：手塚明美（一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事）

●参加者：

- ・9月27日：19名
- ・10月25日：21名

●開催報告：ボランティア活動支援施設 新任スタッフ研修会

支援センター、自治体担当職員で主に初任者（着任3年以内）を対象に、全2回で市民公益活動・NPOの特徴やNPO法人に関する基礎的な知識、その活動を支える支援センターの役割について講義をし、その後ブレイクアウトルームに分かれて、意見交換や情報共有を行いました。



参加者からは「市民活動団体とは何か、それをサポートするとはどういうことなのか、まだまだ勉強途中なので参考になった。」
「NPOやボランティアの歴史や位置づけの話を聞いて、今までの自分の認識との違いを感じた。勉強になった。」
「いまは学校でもNPOやボランティアについて学んでいるとのこと。新しい活動にも目を向けていきたい。」といった感想が聞かれました。

（3）企業・大学等への支援、協働推進に向けた取組み

① かながわ人生100歳時代ネットワークへの参加

神奈川県では「かながわ人生100歳時代ネットワーク」という行政、大学、企業、NPO等が連携・協働するためのプラットフォームをつくり、県民一人ひとりが生涯にわたり生き生きと充実した生活を送ることができる社会を実現するため、「学びの場」から「活動できる場」へと繋ぐ仕組みの創出を目指しています。

当法人は、NPOであり中間支援団体としての立場からこのネットワークに参加しています。

② 災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり

東日本大震災以降、2016年の熊本地震、2018年の西日本豪雨災害、2019年の東日本豪雨災害など国内各地の被災地において、発災後の長期にわたる被災者支援の「もれ・むら」をなくすために、NPOなどの民間団体や行政、社会福祉協議会が情報共有会議をもち、連携の取れた支援活動を行う必要性が認識されるようになりました。当法人は地域の民間中間支援組織としての立場から、2019年8月以降、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワー

ク、かながわ県民活動サポートセンター、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会と定期的な会合をもち、災害に備えた地域のネットワークづくりについて意見交換を行ってきました。

2020年4月、当法人は、市民セクターよこはま、かながわ311ネットワークと三者で協力して「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（準備会議）」（通称：「みんな準備会議」）を発足させました。みんな準備会議は、神奈川県が大災害の被災地となったときに備え、被災者のくらしの復興をさまざまな団体が連携して長期に亘り支える仕組みをつくるため、県内の団体等の連携・協働を進めるネットワークづくりを活動の目的としています。

2021年度、みんな準備会議の活動は「かながわボランティア活動推進基金21協働事業」に採択され、県レベルの災害時情報共有会議の枠組みづくり、支援団体のネットワーク形成に向けて各種活動が加速しました。当法人から職員1名を出向させて活動推進にあたりました。また、横浜市域の三者連携を進める活動は、横浜市と協働で勉強会の開催、横浜市内の各エリアや分野で情報・ネットワーク・活動実績を持つNPO・中間支援団体等との学習会開催などを行い、災害・復興時において行政、社会福祉協議会、各種民間団体が連携して被災者支援をおこなう重要性についての理解を深めました。

（4）講師・委員等の派遣

自治体や各地の支援組織、市民団体などの依頼に応じてセミナーや学習会の講師、会議の委員などを務めました。

＜講師・委員・アドバイザーなど派遣実績＞

- ・川崎市指定NPO法人審査会委員 ＜2021年度、藤枝＞
- ・環境学習リーダー養成講座「市民活動について」（神奈川県環境科学センター）
＜2021年10月、手塚＞
- ・ボランティア参加導入研修会（パルシステム神奈川）
＜2021年12月、2022年2月、葉石、藤枝、西島、手塚＞
- ・めぐろNPO運営支援講座（目黒区社会福祉協議会めぐろボランティア・区民活動センター）＜2022年2月、手塚＞
- ・おだわら市民学校卒業生・修了生研修会（小田原市生涯学習課）
＜2022年2月、手塚＞
- ・マネジメント講座「あなたのまわりのSDGs講座」（藤沢市民活動推進センター）
＜2022年3月、松村＞
- ・北区協働担い手づくり研修「地域活動への最初の一步（北区）」（北区NPO・ボランティアプラザ）＜2022年3月、手塚＞

■市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進

(5) 市民参加・地域人材育成

① かながわコミュニティカレッジ事務局の運営

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアやNPOなど、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当法人は「令和3年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、カレッジ事務局の運営を担いました。コミュニティカレッジの運営は2015年度より毎年委託を受け、今年で7年目となります。

事務局では、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアやNPO等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。また、カレッジでは従来講義室での対面講座を開催していますが、新型コロナウイルス感染症感染拡大への対応として、選択的にオンラインでの講座やハイフレックス型講座も開催しました。試行として一部講座を録音録画して後日受講生に配信するサービスも行いました。

開講講座数、受講者総数、修了率について

2021年度コミュニティカレッジは「地域の支え合い」「災害救援・減災・防災」「地域活性化」「団体運営・ICT化」「保健・医療・福祉」「子どもの健全育成」「人権」「環境」の分野から多様なテーマで講座を開講しました。計画していた講座は年間計36講座(40本)でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置等で取り止めた講座があったため、35講座(38本)の開講となりました(特別講座を含む)。今年度の受講者数は、講義室の定員上限30名という制約や、取り止め・中止の講座があったものの、延べ949人の方が受講されました。受講修了率(県主催講座)は全講座平均86.7%です。

2021年度開講講座の一覧は本報告書の末尾に掲載しています。以下に、特別講座、修了生交流会、ハイフレックス型講座について詳述します。

●特別講座「地域で学び、地域で活躍する 人生100歳時代のライフデザイン」

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、オンラインの無料セミナーを開講しました。当日は81名の参加があり、参加者層は40代から80代以上と幅広く、その半数弱は60代の方でした。受講動機は「これからの活動のきっかけにしたい」方が多く、講座を受けて「新たな地域活動に参加したい」と思った方がアンケート回答者の半数以上を占めました。

テーマ：地域で学び、地域で活躍する 人生100歳時代のライフデザイン

日時：8月29日(日) 13:30~15:00 (Zoomによるオンライン開催)

参加者：81名 (申込数97名)

内容：(第1部) 講演「自分探しの旅とボランティアライフ」

講師 興柁 寛氏

(社会学者、アクティブ・シティズンシップ研究所代表)

(第2部) かながわコミュニティカレッジの紹介

●修了生・受講生のためのオンライン交流会

かながわコミュニティカレッジ修了生・受講生を対象にオンライン交流会を開催しました。受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、ウィズコロナでの活動の活性化や、今後の活動に向けたモチベーション継続につなげることを目的としました。

地域活動の事例紹介を行った後、質疑応答を挟んで、少人数に分かれた情報交換を行いました。ブレイクアウトルームには当法人のファシリテーターが入り、受講生同士の会話が進むサポートをしました。

日 程：12月5日（日）13時30分～15時30分

Zoomによるオンライ開催

対 象：メルマガ登録をしている修了生・受講生
及び令和3年度終了講座の受講生

参加者：17名

参加費：無料

内 容：

- ・地域活動事例紹介
＜青少年の地域活動拠点、多世代交流の場
～あおばコミュニティテラス＞
- ・小グループで参加者同士の情報交換、交流

【交流会参加者の感想】（アンケートより抜粋）

- ・とても刺激になりました。また今後も自分の学びを深めていきたいと思います。
- ・オンラインのメリット、どこに居ても参加できるので遠方の方とも交流できてよかったと思いました。
- ・オンラインだからこそたくさんのいろいろな方々とお話できてとても有意義な交流会でした。またこのような交流会を開催してください。
- ・違った視点からの気づきをいただいた。今後の活動に生かしたい。
- ・色々な方との交流 事務局並びにソコカナスタッフ方々のご尽力により啓発を得ることができました。



●ハイフレックス型講座の試行

「もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめよう」講座は、ハイフレックス型（同じ内容の講義を、対面とオンラインで同時に行う方法）で行いました。ハイフレックス型講座は、講義室の受講生とオンライン（Zoom）で参加する受講生双方の受講環境に配慮し、双方向でスムーズにやり取りできる映像、マイク、スピーカーの設営が必要となるため、講師と運営側には通常の講座に比べて負荷が高まります。機材等十分な設備環境が無いなかで、事前リハーサルを重ね、毎回の

講義中も細かな調整を繰り返した結果、最終的には対面とオンライン参加双方の受講生に満足いただく講座を提供することができました。

講座名：もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめよう
日 程：令和4年1月24日～2月14日（月）全4回 13：30～16：30
受講者：22名（会場13名、オンライン9名）
受講料：6,000円

協 力：特定非営利活動法人セカンドリーグかながわ

内 容：日本における食品ロスの現状と課題

食品製造・流通企業から「製造・流通過程で食品ロスが生まれる状況」

神奈川の食品の活用状況「生活支援、こども食堂、ひとり親支援」

フードバンクの活動について「フードバンクかながわの取り組み」

フードバンク・フードドライブの実践事例

ワークショップ 行動計画づくり ほか



（6）県域の中間支援組織としての仲介活動

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先を推薦しました。「障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」や「自然災害の被災者支援、広域避難者支援を行っている団体」にお菓子の寄贈が届くよう、県内の市民活動支援センター5か所、中間支援団体1か所、災害支援団体1か所に仲介手配をしました。

寄贈先団体・施設：

チアフル、NPO 法人手をつなぐ育成会ウィズ（茅ヶ崎市民活動サポートセンター経由）／
NPO 法人サポートハウス ワン・ピース（大和市民活動センターより推薦）／NPO 法人
命を大切に作る小田原を創る会、認定 NPO 法人小田原なぎさ会（おだわら市民交流セン
ターUMECO 経由）／ゆいまーる、アートステージ（座間市民活動サポートセンター経由）
／他2団体（藤沢市市民活動推進センター経由）／NPO 法人スペースナナ／NPO 法人ユ
ナイテッドかながわ

(参考) 2021年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧
(神奈川県主催講座)

講座名	講座企画実施団体	開催日
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (基礎編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	6/24～7/15
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター	7/2～11/12
アドラー心理学から学ぶ「勇気づけ」コミュニケーションの 実践 ～地域活動リーダー養成講座～	輝楽理庵(きらりあん)	7/3～7/24
これからの団体広報が変わる！人が集まる講座企画 と思わず手に取るチラシの作り方	NPO 法人男女共同参画おおた	7/3 ①7/6～7/27
傾聴ボランティア養成講座 入門コース①②③	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	②10/5～10/26 ③11/9～12/7
水害にあった紙資料の応急処置を学ぼう	神奈川地域資料保全ネットワーク	7/18～8/1
災害ボランティアコーディネーター養成講座	NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	10/9～10/23
空き家を活かそう！空き家活用による地域課題の解 決と価値の生み出し方	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 協力:(一社)全国空き家アドバイザー協議会	10/14～11/4
あなたの人生聞かせてください 聞き書きボランティア養成講座	聞き書きの樹	10/5～11/16
子育て世代の親に寄り添い、孤立・虐待を防ぐ相談 員 子育て期の相談 リスナルケアラー養成講座(入 門編)	NPO 法人ひだまりの森	11/26～12/24
「園芸療法」の考えを取り入れた、植物のある豊かな 地域づくりのご提案！園芸療法ボランティア入門講 座	NPO 法人日本園芸療法研修会	10/14～12/2
もっと知りたい食品ロス！身近なことから活動をはじめ よう ※ハイフレックス講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ NPO 法人セカンドリーグ神奈川	1/24～2/14
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (実践編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	10/7～11/25
人生 100 歳時代の NPO・市民活動(基礎編) ～基礎を学び、活動を立ち上げ、運営を始める～ ※オンライン講座	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構	9/30～10/21
多文化共生時代を生きる～多様な文化をもつ人たち の共生の場をつくらう！～	NPO 法人参加型システム研究所	10/14～11/4
まち歩きボランティアガイド養成講座	横浜ボランティアガイド協議会	10/1～11/26
共助の地域づくりを推進する講座	これからの福祉を考える会横浜 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	10/27～12/22
人生 100 歳時代の NPO・市民活動(実践編) ～実践を学び、今後の活動と運営を考える～ ※オンライン講座	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構	11/11～12/2
『障害』を私たちで解決しよう!!! 世界基準の障 害教育=障害平等研修(DET)を受けてから、車椅子 ユーザー・視覚障がい者と街歩きをしてみよう	DET 神奈川	11/20、11/27

NPO 会計実務講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:NPO 法人税理士による公益活動サポートセンター	11/17～12/8
～生きづらさを抱えた方とその家族への理解と支援を広げる～ 大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座	ふわふわの会 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	11/30～12/21
新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座(NPO 活動・地域活動向け)パート1 基礎編 人に伝わる文章を書く技術を学ぶ	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:朝日新聞ジャーナリスト学校	1/29～2/26
新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座(NPO 活動・地域活動向け)パート2 応用編 広報紙づくりの基本を学ぶ	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:朝日新聞ジャーナリスト学校	1/29～2/16
傾聴ボランティア養成講座 ステップアップ研修	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	2/1～2/22

(連携講座)

講座名	講座企画実施団体	開催日
外国につながる子どもの学習支援者養成講座	NPO 法人日本語・教科学習支援ネット	7/4～8/29
災害ボランティア入門講座①②※ハイフレックス講座	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	①7/4 ②7/8
防災教育ファシリテーター養成講座(初級編)	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	7/10～7/31
ワード 2016 で作る 思わず手を取るチラシの作り方	NPO 法人男女共同参画おおた	11/20
Web 会議システム活用のサポート講座	NPO 法人湘南ふじさわシニアネット	12/1
子どもシェルターのボランティア養成講座	認定 NPO 法人子どもセンターてんぼ	1/22～2/12
理科推進スタッフ体験講座	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房	10/20～3/23
回想法リーダー養成講座 ※オンライン講座	回想法プランニング	10/22～12/24
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(上級)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター	11/19～1/28
野生動物リハビリテーター養成講座(講義編)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会神奈川支部	11/28、12/5

(特別講座)

講座名	講座企画実施団体	開催日
地域で学び、地域で活躍する 人生 100 歳時代のライフデザイン 「自分探しの旅とボランティアライフ」 ※オンライン講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	8/29

(修了生交流会)

名称	講座企画実施団体	開催日
かながわコミュニティカレッジ修了生・受講生のオンライン交流会	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	12/5

以上